

ハーモニー

No. 93

令和4年12月15日

白鷹町大字鮎貝3994番地7 TEL 85-2342 / FAX 85-2341

貴重な史跡を守り続けていきたい

夫婦観音などの法要が執り行われました

白山森史跡保存協賛会（白田徳治郎会長：写真右上）主催による夫婦観音と白山妙理大権現、西国三十三観音の法要が11月19日、会員、鮎貝区の正副区長をはじめ関係者12名が参列して執り行われました。

法要では、白山森に所縁のある常安寺の住職と副住職がお経を唱えながら、コロナ感染の収束と地区の安泰・安定を願い参列者が一緒に手を合わせました。



法要後、白田会長と井上区長が挨拶され、常日頃から白山森の保全管理にご協力いただいていることへのお礼と併せ、縁結びや夫婦円満、子孫繁栄、子育て成就などのご利益があるとされる夫婦観音に多くの参拝者が訪れてもらえるように、今後も取り組んでいきたいと話されました。

今年も幻想的なイルミネーション通りに

四季の郷駅で楽しむ会（新野吉彦会長・会員28名）をはじめ、近隣住民の方々のご協力をいただいで毎年行っているイルミネーションが今年も11月24日から点灯されました。

今年も、現在のフラワー長井線が鮎貝駅まで開通して百周年の節目を迎えたこともあり、その記念にと駅舎の脇に100の文字を入れるなど、パーションアップされました。今月25日のクリスマスの日まで点灯されています。



まちづくり座談会を 開催しました

町と鮎貝地区まちづくり協議会との共催による「まちづくり座談会」を11月14日に開催しました。

昨年度同様、コロナ感染防止のため、出席者をまちづくり協議会の委員に限定させていただいての開催でしたが、57名の方が出席されました。

今回は「マイナンバーカードについて」と「白鷹町第6次総合計画の概要と進捗状況について」をテーマとして話し合いが行われた他、地域の抱えている課題や町への要望なども数多く出されました。



座談会でおさ
れたご意見やご
要望などについ
ては、全地区の
座談会が終了し
だい、町報で報
告されますので
ぜひご覧ください。

くらし部会の事業を報告致します

環境問題に関する

研修会を実施しました

くらし部会（五十公野良一部会長）では、部会員32名を対象に環境問題に関する研修会を11月18日に実施しました。

研修会では、町民課くらし環境係の吉村秀昭課長補佐から、町が取り組む地球温暖化対策の具体的な施策や、各家庭で取り組んでいただきたいことなどを説明していただきました。

また、ごみの減量化・資源化のために実践していただきたいことなどについても分かりやすく説明していただきました。出席者からは大変勉強になったとの感想が聞かれました。



地区の安全マップを作成しました

ぜひご活用ください

くらし部会の新規事業として、各町内長さんや猟友会、消防団のご協力をいただいで、鮎貝地区内の交通事故が懸念される場所や防犯上留意すべき場所、過去に災害が発生した場所、クマやイノシシが出没した場所などを記載した両面刷りのマップを作成することができました。

この度、全戸に配布させていただきましたので、マップを参考にしながら、改めて地区内の危ない場所などをご家庭で話し合っていたり、見える場所に貼っていたりなどご活用ください。



肩こり、腰痛改善の運動を… 菜の花学級で健康教室を開催

11月29日、菜の花（婦人）学級の健康教室に28名が参加して行われました。

今回は、背骨コンディショニングパーソナルトレーナーの資格を持ち、町総合型地域スポーツクラブ「RO*KU（ロック）」でセルフ整体教室の指導もされているしらか整体（山口）の菅悟さんから、背骨のゆがみを整え、不調を改善するための運動を教えてくださいました。

その中で、肩こりや腰痛、ひざの痛みなどは骨盤や背骨のゆがみからきていることが多く、タオル一枚で手軽にできる運動や



ストレッチを毎日無理せず続けることが大事、と教えていただきました。
これからも健康でいきいきと過ごせるよう、「緩める・矯正する・筋力トレーニング」に努めたいものです。

パラリンピック種目のボッチャを体験 社会体育振興会が企画

鮎貝地区社会体育振興会（小口裕之会長）主催によるボッチャ講習会が12月4日、鮎小体育館を会場に、7分館から21名が参加して行われました。

参加者全員が初めてということもあり、始めに、町スポーツ推進委員会会長の鈴木伸一さんから競技の仕方やルール等の説明をしていただき、その後、各コートに分かれて試合形式で行いました。

参加者らは、回を追うごとにボールの転がる感覚にも慣れ、狙い通りに相手のボールを散らしたり、白いボールにピタッと付けたりと、一喜一憂しながらゲームを楽しまれました。



おせち料理教室のご案内

お正月には欠かせないおせち料理をつくりましょう。作ったおせちは、重箱に詰めてお持ち帰りいただけます。

◇日時 12月27日（火）

午後1時30分より

◇場所 ハーモニープラザ

◇講師 町教育委員会 木口祐里さん

◇会費 2000円

◇持ち物 重箱もしくはタッパー、飾り

や仕切り用カップなど

◇申込み 12月21日（水）までハーモニー

プラザにお申込みください。

電話（85）2342

手作りみそ教室のご案内

手作りみそ教室を2月中に開催いたします。

詳しい内容は次号の会報に掲載いたしますが、参加して頂ける方は早め大豆の準備をお願いします。

目安・大豆3升と麴3升で約15kgのみそができます。

十一月二十五日（金）授業参観後にPTA研修会を行いました。PTA研修会は、コロナ禍の影響から、三年ぶりの開催となりました。

『子どもの自尊感情を高めるためにできること』をテーマに、公認心理師・臨床心理士の伊藤洋子氏からお話をいただきました。

「自尊感情」とは、小学生の時期に獲得すべき、人生を自分らしく幸せに生きていくために必要な感情の一つで、「自分自身を知り、自分のあるがままを受け入れ、自分を大切にできる気持ち」「自分の存在そのものを尊いと感じている感情」と定義されます。自尊感情をきちんとして持っている子は、他人も尊重でき、いじめ防止や自殺予防などに必要な感情になります。

警察庁でまとめた「自殺統計」によると、小中学生の自殺の原因は、「親子関係の不和」「家族からのしつけ・叱責」が上位にきています。報道などでは、いじめに起因した自殺が大きく取りあげられる場合が少なくないので、意外に思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

氏からは、自尊感情を高める関わり方として、「小さな成長を見逃さない」「すぐにほめる」「他人と比べないでほめる」「勉強だけでなく

様々な視点からほめる」「結果だけでなく過程の頑張りや努力をほめる」「できて当たり前と思わずにほめる」などのポイントを示していただきました。また、否定のメッセージ、例えば、「どうしてもっと頑張れないの」「お兄ちゃん・お姉ちゃんではできなかったのに」を送ると、子供の自尊感情は下がってしまうとの話もありました。更には、保護者や家族がけんかばかりしていると、「私は生まれてきてよかったの？」という感情に陥ってしまい、自殺という最悪の事態を招いてしまう場合もあるとの指摘がありました。

とても貴重な話が聞けて、あつという間の時間となりました。このような研修会を企画・準備してくださったPTA育成研修部の皆様、平日のお忙しい中、時間を作って参加くださった保護者の皆様に敬意を表します。本校児童の様子を見てみると、自尊感情の低さから発生する問題も散見されます。

子育てには、大人の学びが必須です。学び無くして子育ては成立しないと考えます。自身の経験のみに頼った子育てから、専門家からのアドバイス等を参考に、我が家の子育てを見直す機会を適宜設けていくことが肝要です。

～駐在所からのお知らせ～

雪下ろし・落雪による事故の防止

昨冬の除雪中の事故・落雪による人的被害→193件発生、うち12件の死亡事故
【安全な雪下ろしのために】

- 道具はスキルに合わせて、メンテナンスもしっかり！
 - ・軽くて雪が付きにくい**アルミ製スコップ**や**スノーダンプ**を使う
 - ・除雪機の雪詰まりの取り除きは必ず**エンジンを停止**してから
- 作業は2人以上で！
 - ・事故に備えて**2人以上**で作業する
 - ・**家族と隣近所に声をかけてから**作業する

